

II. 貸借対照表、損益計算書、社員資本等変動計算書及び注記表

1. 貸借対照表

貸借対照表

(2021年3月31日現在)

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
I 特定資産の部		1. 流動負債	1, 112, 561
土地	1, 567, 863, 992	一年以内返済予定特定借入れ	0
建設仮勘定	559, 310, 636	未払金	92, 000
特定資産の部合計	2, 127, 174, 628	未払費用	730, 561
II その他の資産の部		未払法人税等	290, 000
1. 流動資産	158, 538, 599	2. 固定負債	1, 684, 529, 932
現金及び預金	155, 904, 739	特定社債	100, 000, 000
未収入金	2, 633, 860	特定借入れ	1, 560, 000, 000
2. 固定資産	7, 640, 506	預り敷金	24, 529, 932
(1) 投資その他の資産	7, 640, 506	負債の部合計	1, 685, 642, 493
長期前払費用	7, 640, 506	(純資産の部)	
3. 繰延資産	1, 296, 426	1. 社員資本	609, 007, 666
特定社債発行費	1, 296, 426	特定資本金	100, 000
		優先資本金	670, 000, 000
		剰余金	△ 61, 092, 334
		当期末処理損失	△ 61, 092, 334
その他の資産の部合計	167, 475, 531	純資産の部合計	609, 007, 666
資産の部合計	2, 294, 650, 159	負債及び純資産の部合計	2, 294, 650, 159

2. 損益計算書

損益計算書

自2020年4月1日 至2021年3月31日

(単位：円)

科目	金 額	
営 業 収 益		3,250,000
不 動 産 賃 貸 収 入	3,250,000	
営 業 費 用		40,749,131
金 融 費 用	1,071,436	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	39,677,695	
営 業 損 失		△ 37,499,131
営 業 外 収 益		2,052
受 取 利 息	2,052	
営 業 外 費 用		0
経 常 損 失		△ 37,497,079
税 引 前 当 期 純 損 失		△ 37,497,079
法人税、住民税及び事業税		290,000
当 期 純 損 失		△ 37,787,079
前 期 繰 越 損 失		△ 23,305,255
当 期 未 処 理 損 失		△ 61,092,334

3. 社員資本等変動計算書

社員資本等変動計算書

自2020年4月1日 至2021年3月31日

(単位：円)

（単位：円）

	社員資本					純資産合計
	特定資本金	優先資本金	剰余金		社員資本合計	
			当期末処分利益	剰余金合計		
当 期 首 残 高	100,000	550,000,000	△ 23,305,255	△ 23,305,255	526,794,745	526,794,745
当 期 変 動 額						
優 先 出 資 の 発 行		120,000,000			120,000,000	120,000,000
当期純利益			△ 37,787,079	△ 37,787,079	△ 37,787,079	△ 37,787,079
当 期 変 動 額 合 計		120,000,000	△ 37,787,079	△ 37,787,079	82,212,921	82,212,921
当 期 末 残 高	100,000	670,000,000	△ 61,092,334	△ 61,092,334	609,007,666	609,007,666

4. 注記表

【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 特定資産の評価基準及び評価方法

(a) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産はありません。

② その他の資産の評価基準及び評価方法

(a) 繰延資産の処理方法

(i) 優先出資発行費の処理方法

支出時に全額費用処理しております。

(i) 特定社債発行費の処理方法

繰延資産として計上し、原則として社債償還期間にわたり、定額法により月割償却を行っております。期限前償還があった場合には、期限前償還された元本に対応する金額を一括償却しております。

(2) その他の計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。なお、控除対象外消費税等については、法人税法に従い期間費用可能なものは期間費用とし、繰延処理すべきものは5年間で償却しております。

【貸借対照表に関する注記】

(特定資産の部に係るもの)

(1) 担保提供資産及び担保に係る債務

記載すべき事項はありません。

(2) 特定資産の価格につき調査した結果

2,400,000,000 円 (2020 年 8 月 31 日現在)

不動産鑑定士が特定資産にかかる不動産の鑑定評価を行っております。

(注) 特定資産の評価額は土地のみの評価です。

【損益計算書に関する注記】

支配社員との取引

事業取引による取引高 6,800,000 円

事業取引以外の取引による取引高 0 円

【社員資本等変動計算書に関する注記】

(1) 当該事業年度の末日における発行済優先出資の総口数 13,400 口

(2) 当該事業年度中に行った金銭の分配の総額 0 円

【税効果会計に関する注記】

記載すべき事項はありません。

【リースにより使用する固定資産に関する注記】

記載すべき事項はありません。

【金融商品に関する注記】

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社の金融商品には、預金・特定借入れがあります。

(2) 金融商品の時価に関する事項

(単位：円)

	貸借対照表計上額	時 価	差 額
預 金	155,904,739	155,904,739	—
特 定 借 入 れ	(1,560,000,000)	(1,560,000,000)	—
特 定 社 債	(100,000,000)	(100,000,000)	—

(注1) 負債に計上されているものは、()で示しております。

(注2) 預金は貸借対照表計上額で資金化可能なため同額を時価とし、特定借入れは市場金利を基に利率が決定され貸借対照表計上額を時価としております。

【賃貸等不動産に関する注記】

(1) 賃貸等不動産の状況に関する事項

特定資産である丸屋町土地を当事業年度途中までは、一時的に駐車場として賃貸しておりましたが、現在は、ホテル建設中です。

(2) 賃貸等不動産の時価に関する事項

(単位：円)

貸借対照表計上額	時価
1,567,863,992	2,400,000,000

(3) 賃貸等不動産の概要

特定資産である丸屋町土地にホテルを建設し、将来、株式会社プリンスホテルに賃貸する予定です。

(4) 賃貸等不動産の貸借対照表計上額及び期中における主な変動

当該事業年度に、当社は、前事業年度取得した土地の不動産取得税を納付しました。

(5) 賃貸等不動産の当期末における時価及びその算定方法

当期末の時価は、2,400,000,000 円であり、2020 年 8 月 31 日不動産鑑定士が特定資産にかかる不動産の鑑定評価を行っております。

(6) 賃貸等不動産に関する損益

特定資産である土地を一時的に関電ファシリティーズ(株)及びタイムズ 24(株)に賃貸しており、営業収益 3,250 千円、営業損失 37,499 千円です。

【関係当事者との取引に関する注記】

(1) 支配社員

氏名	議決権等の 所有割合	関係内容	取引の 内 容	取引金額	科 目	期 末 残 高
関電ファシリティーズ株式会社	0%	当社の優先出資社員の兄弟会社	不動産賃貸料	2,000,000 円	—	—

(2) 役員

氏 名	議決権等の 所有割合	関 係 内 容	取 引 の 内 容	取 金 引 額	科 目	期 残 末 高
有限会社 淀屋橋総合会計	0%	当社役員 が議決権 の過半数 を保有す る会社	事務管 理業務	2,000,000 円	未払 費用	0 円

(注) 取引金額は、消費税抜金額です。

① 取引条件及び取引条件の決定方針

市場価格を基に決定しております。

② 取引条件の変更があったときは、その旨、変更の内容及び当該変更が計算書類に与えている影響の内容

記載すべき事項はありません。

【一口当たり情報に関する注記】

特 定 出 資		
一口当たり純資産額	50,000 円	00 銭
一口当たり当期純利益金額	0 円	0 銭
優 先 出 資		
一口当たり純資産額	45,440 円	87 銭
一口当たり当期純利益金額	△3,232 円	31 銭

【重要な後発事象に関する注記】

重要な後発事象

記載すべき事項はありません。

【その他の注記】

記載すべき事項はありません。